

第20回 三保連合同シンポジウム

内科系学会社会保険連合
外科系学会社会保険委員会連合（担当）
看護系学会等社会保険連合

総合テーマ 令和2年度診療報酬改定に期待するもの
- 三保連の重点要求項目

日時：令和元年11月5日（火）18:30～20:00
会場：フクラシア東京ステーション 会議室D

事前受付はございません。
当日多数の方のご来場をお待ちしております。

問い合わせ先：

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F
毎日学術フォーラム内
外科系学会社会保険委員会連合（外保連）事務支局
TEL:03-6267-4550 FAX:03-6267-4555
E-mail: maf-gaihoren@mynavi.jp

第20回 三保連合同シンポジウム

内科系学会社会保険連合・外科系学会社会保険委員会連合・
看護系学会等社会保険連合

総合テーマ 令和2年度診療報酬改定に期待するもの
- 三保連の重点要求項目 -

日時：令和元年11月5日(火) 18:30~20:00
会場：フクラシア東京ステーション 会議室D

【シンポジウムのねらい】

平成30年度診療報酬改定は、医療費抑制政策の中で実施された医療・介護のダブル改定でしたが、結果的には医科本体は+0.63%とプラス改定であり、やや不満は残るものの一応合格点といったところでした。

さて令和2年度診療報酬改定においても、厳しい財源の中とはいえ前回以上の成果をあげる必要があります。医療と福祉が連携する地域包括ケアシステムが推進されつつありますが、我が国の医療の将来の在り方を見据え、より説得力のある提案を発信できるよう、本三保連シンポジウムにおいて議論したいと考えています。

【プログラム】

1. 開会の挨拶 (18:30~18:35)

岩中 督 (外保連会長 埼玉県病院事業管理者)

2. 講演 (18:35~19:35)

司会：岩中 督 (外保連会長)

1) 2020年度(令和2年度)診療報酬改定に向けた内保連の取組み

- 意思決定支援の診療報酬上の評価に向けて - (20分)

横谷 進 (内保連副理事長 福島県立医科大学 甲状腺・内分泌センター)

2) 2020年度(令和2年度)診療報酬改定に向けた看保連の取組み

- 患者・家族がよりよく生きるための支援を目指して - (20分)

宇都宮 明美 (看保連副代表理事 診療報酬体系の在り方検討委員会委員長 京都大学大学院医学系研究科)

3) 2020年度(令和2年度)診療報酬改定に期待するもの - 外保連の重点項目 - (20分)

瀬戸 泰之 (外保連会長補佐 東京大学胃食道外科教授)

3. 総合討論 (19:35~19:55)

司会：小林 弘祐 (内保連理事長)、山田 雅子 (看保連代表理事)、岩中 督 (外保連会長)

4. 閉会の挨拶 (19:55~20:00)

瀬戸 泰之 (外保連会長補佐 東京大学胃食道外科教授)

【抄録】

1. 2020年度(令和2年度)診療報酬改定に向けた内保連の取組み

- 意思決定支援の診療報酬上の評価に向けて -

横谷 進(内保連副理事長 福島県立医科大学 甲状腺・内分泌センター)

内保連は、内科系医療技術の適切な評価を長きに亘り懸案としてきた。この数年間はとくに、特定内科診療を初めとする疾患固有の難易度の評価、患者・家族が検査・治療等の方針を主体的に意思決定できることを目的として、医師が中心になって実施する専門的な「説明(意思決定支援)と同意」の評価、について取り組んできた。本シンポジウムでは(意思決定支援)に関する到達点と診療報酬への反映の可能性について報告する。

2. 2020年度(令和2年度)診療報酬改定に向けた看保連の取組み

- 患者・家族がよりよく生きるための支援を目指して -

宇都宮 明美(看保連副代表理事 診療報酬体系の在り方検討委員会委員長 京都大学大学院医学系研究科)

疾病や療養の場が多様化している現在の医療の中で、患者・家族がよりよく生きるための支援が重要である。このような支援を実現するため、看保連では、看護師の『つなぐ』『支える』機能を十分に発揮できるような体制づくりを提言すべく、医療技術評価提案書では未収載7項目と既収載12項目を提出し、要望書では「重症化予防」「地域包括ケアの推進」「効果的・効率的な医療」の3つの重点要望について30項目を要望した。

3. 2020年度(令和2年度)診療報酬改定に期待するもの - 外保連の重点項目 -

瀬戸 泰之(外保連会長補佐 東京大学胃食道外科教授)

2020年度(令和2年度)診療報酬改定に向けて、従来通り、新設164項目、改正208項目、材料新設・改正34項目の計406項目を要望として申請している。また、外保連試案2020にもとづき、人件費・償還不可材料費/診療報酬の不均衡術式の訂正を引き続き要望する。前回平成30年度改定では、新設項目は35.8%、改正項目は49.6%の採用率であり、最近では比較的高いものであったが、次回改定でも少なくとも同様の水準は維持したい。人件費等/診療報酬の不均衡術式は、前回改定では減少しておらず、ほぼ横ばいであったので、訂正を強く求めたい。同様に、手術試案と実際の手術料の乖離の大きい術式の再評価も求めたい。ほか、複数手術や縫合器加算などを一括要望として求めたい。また、手術・処置の休日・時間外・深夜加算についても算定できていない施設がまだ多いものと考えられるので、再度緩和を要望する。KコードとSTEM7との突合化をすすめ、Kコードの整理について協力していく考えである。

会場案内

会場：フクラシア東京ステーション 会議室 D

住所：東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル 5F、6F

交通のご案内：

(JR(東京)駅・地下鉄(大手町)駅 地下直結、JR(東京)駅・日本橋口徒歩1分)

